

～きてけて田野畑～番屋地区の活性化～

平成27年地域政策研究センター(地域提案型・前期) 採択課題

課題名：震災復興と地域活性化-机浜番屋群を拠点とした地域振興策の検討を中心として-
研究代表者：総合政策学部 教授 田島平伸
課題提案者：田野畑村 NPO法人体験村・たのはたネットワーク
研究メンバー：田野畑村職員、特定非営利法人体験村・たのはたネットワーク、
齋藤俊明(総合政策学部)、田島ゼミ3年生(秋田谷亮、阿部哲士、小原りら、
久保秀吉、野口英慈)
技術キーワード：ジオストーリー、ジオツアー、持続的地域活性化

●研究の概要

本調査研究は、岩手県田野畑村の机浜番屋群やその周辺地域について、新たな資源の発掘、開発を目的として行われたものである。

調査研究の目標は、①番屋施設をはじめ、周辺地域にも目を向けた資源の調査・発掘・開発によるメニューの提案、②塩づくり番屋で生産される塩の活用方法及び製品化の提案、③滞在時間の長時間化に向けた提案、④教育機関等の利活用方法及び交流の拡大への提案、の4つである。

●研究の内容

1. ポストカード・カレンダーの作成と活用の検討
2. わかめをはじめとする観光資源についてのパンフレット作成と活用の検討
3. 田野畑村の塩を他地域と差別化し販売するための商品化に向けた実験と検討
4. 滞在時間の延長と観光のバリエーション拡大のためにダイビングの可能性の検討
5. トレッキング利用者拡大に向けた、安全対策と地域資源活用の調査と検討

全体：地域資源を生かした滞在型観光を拡大することで観光客の増大を図ることを目的に地域資源について分野ごとに活用の可能性を検討



ポストカード写真(例)



海岸のゴミが地域に積もる課題の多さを表す...



制作したトレッキングマップ

●まとめ(研究の成果と今後の展開)

- ・平成28年3月5日「地域づくりフォーラムinたのはた」において調査結果を報告
- ・調査成果の事業化についての検討や新たな地域協働の取り組みに向けた活動を今後も行う予定
- ・調査実施にあたり、ご協力いただいた田野畑村の皆さんに感謝申し上げます。